

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。



スポーツ安全保険

第45回 北信越国民スポーツ大会

第78回国民スポーツ大会(佐賀)に向けて がんばれ!長野!

第45回北信越国民スポーツ大会が始まっています。

5月4日(土)のカヌーを皮切りに、7月に入りゴルフ、テニス、馬術等が続き、中心会期の8月23日(金)から25日(日)にはバスケットボールほか15競技が行われます。

「県スポだより」は、
本会ホームページでもご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

CONTENTS

- ・会議報告 2~3
 - 第1回理事会・第1回総務専門委員会
 - 定時評議員会
 - 第1回体力向上・スポーツ医科学専門委員会
 - 第1回競技力向上専門委員会
 - 第1回長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会
 - 企業訪問 2
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポニュース 4~5
 - 競技力向上カンファレンス
 - 市町村・競技団体調整会議 他
- ・スポーツ少年団 6
 - 交流大会報告、日独同時交流事業表敬訪問
- ・総合型地域スポーツクラブの紹介 7
 - 小谷村総合型地域スポーツクラブ
- ・第32回 a b n スポーツ大賞贈呈式 7
- ・SWANプロジェクト16期生募集 7

令和6年(2024年)
7月31日発行

第311号

会議報告

令和6年度 第1回理事会 第1回総務専門委員会開催 〔令和6年6月7日(金)〕

第1回総務専門委員会が県スポーツ会館で開催され、理事会に諮る案件について了承されました。同日開催された理事会では、令和5年度の決算報告(案)等の議案が審議され、全て承認されました。



【第1回理事会の内容】 (報告事項)

- 1 第45回北信越国民スポーツ大会について
- 2 第78回国民スポーツ大会について
- 3 令和5年度補正予算の専決処分について
- 4 スポーツ少年団副部長の委嘱について
- 5 ガバナンス向上研修会について
- 6 令和6年度ガバナンスコード適合性審査実施計画について

3 評議員会の開催について

- 4 副会長の推挙について
- 5 総務専門委員会委員の選任について
- 6 第82回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施競技に係る推薦について
- 7 第89回国民スポーツ大会三重県開催に係る同意書について
- (その他)
- 1 評議員の改選について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 今後の日程等について
- 4 令和6年度常勤役員・事務局職員名簿について

令和6年度 定時評議員会開催 〔令和6年6月21日(金)〕

定時評議員会が長野県スポーツ会館で開催されました。新たな評議員の選任など3つの議案が全て承認されました。

【定時評議員会の内容】

(報告事項)

- 1 第45回北信越国民スポーツ大会について
- 2 第78回国民スポーツ大会について
- 3 令和5年度事業報告について
- 4 令和6年度事業計画について
- 5 令和6年度予算について
- 6 副会長の委嘱について
- 7 スポーツ少年団副部長の委嘱について
- 8 総務専門委員会委員の委嘱について
- 9 第89回国民スポーツ大会三重県開催に係る同意書について
- 10 ガバナンス向上研修会について
- 11 令和6年度ガバナンスコード適合性審査実施計画について

(議事)

- 1 令和5年度決算報告(案)について
 - 2 評議員の選任について
 - 3 理事の選任について
- (その他)
- 1 賛助会員の加入について
 - 2 今後の日程等について
 - 3 令和6年度常勤役員・事務局職員名簿について



【新評議員】(五十音順・敬称略)

No	氏名	推薦団体
1	鮎沢 政文	(公財)信毎文化事業財団
2	跡部 享	長野県ソフトテニス連盟
3	荒井 和人	長野県バドミントン協会
4	安藤 均	長野県相撲連盟
5	稲生 孝	飯水スポーツ協会
6	牛山 成剛	長野県ウエイトリフティング協会
7	内山 了治	(一財)長野陸上競技協会
8	江取 光雄	(公財)飯田市スポーツ協会
9	小笠原 重光	長野県中学校体育連盟
10	柄澤 秀樹	(一社)長野県水泳連盟
11	菊池 毅彦	長野県スケート連盟
12	北島 公一	長野県軟式野球連盟
13	塩川 正樹	長野県卓球連盟
14	菅原 正幸	長野県アーチェリー協会
15	高橋 信夫	(公財)長野県スキー連盟
16	高橋 麗	日本公認会計士協会東京会長野分会
17	武井 富美男	(公財)岡谷市スポーツ協会
18	竹村 昭浩	(一財)長野県バレーボール協会
19	中嶋 則行	長野県レスリング協会
20	中原 信一	(一財)松本市スポーツ協会
21	西澤 一幸	(一社)長野県馬術連盟
22	マキナリー 浩子	(一社)長野県サッカー協会
23	松島 貞治	長野県弓道連盟
24	森本 美佐子	長野県なぎなた連盟
25	油井 周二	(特非)佐久市スポーツ協会
26	横田 由紀子	長野県トライアスロン協会
27	若宮 一宏	長野県JSPO公認スポーツドクター協議会

令和6年度 企業訪問

県のスポーツ振興と競技力向上のため、国民スポーツ大会に出場予定の監督・選手等の所属する企業を訪問し、活動支援を依頼するとともに、強化の現状や練習環境などについて把握することなどを目的として、県スポーツ協会・県競技力向上対策室・競技団体の3者による企業訪問を6月3日(月)から7月2日(火)にかけて実施しました。

訪問した企業は、雇用している選手や国民スポーツ大会に対してとても協力的で、「選手の活躍は社内全体で応援しよう、という雰囲気にしてくれる。」とおっしゃっていました。また、「国民スポーツ大会に向けて、できることは積極的に協力していきたい。」と心強いお言葉をいただきました。



第1回 体力向上・スポーツ医科学専門委員会

【令和6年5月20日(月)】
長野県スポーツ会館

令和6年度の事業計画について、未定であった内容が協議されました。北信越国民スポーツ大会・国民スポーツ大会監督会議と合わせて行われるスポーツ医科学サポート研修会の内容、指導者ミーティングの講師や講演内容などが検討されました。また、継続事業の「スポーツ相談事業」を「スポーツサポート者派遣事業・相談事業」と名称を変更し、体力向上・スポーツ医

科学専門委員がスポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・郡市スポーツ(体育)協会に出向き、委員の専門分野についてサポートする体制を整えました。

さらに、国民スポーツ大会に向け、選手のコンディショニングや競技力の向上をサポートするマルチサポート事業については、競技団体への実施回数などが確認され、一層充実した事業となるようサポート団体へ協力をお願いしました。

続いて、競技力向上対策本部医科学

専門委員会から報告があり、来年度から両委員会を効果的・効率的に開催するための検討課題があげられ、次回委員会では、合同委員会を開催し意見交換を行うことが了承されました。

最後に加藤委員長から、「医科学サポートの内容は様々あり日々変化している。昔のままのものをやっている訳にはいかない。競技力向上のための情報交換と連携を深めていきたい」と挨拶がありました。

第1回 競技力向上専門委員会

【令和6年5月23日(木)】

令和6年度第1回競技力向上専門委員会が5月23日(木)、ホテル信濃路で開催されました。

内山委員長からは、「信州やまなみ国スポ天皇杯1位、皇后杯1位の目標を達成することができるよう、本日の



専門委員会の内容を活かしていただきたい。」と国スポに向けて力強いお言葉をいただきました。

報告・確認事項では、令和6年度競技力向上対策基本方針が確認され、「長野県競技力向上対策本部」等との連携による強化策の推進、マルチサポート事業の活用などの方策について説明がありました。続いて、第78回国民スポーツ大会冬季大会の成績、SAGA2024国民スポーツ大会、第45回北信越国民スポーツ大会の概要の説明があり、国スポ・全障スポ準備課から、第82回信州やまなみ国スポ・全障スポの現在の準備状況について説明がありました。また、体力向上・スポーツ医

科学専門委員会から、令和6年度事業計画、国民スポーツ大会参加に向けてのアンチ・ドーピング教育受講について説明がありました。

【競技力向上専門委員会

令和6年度重点課題】

- 組織体制の整備・・・強化部等の組織体制確立や充実
- 競技力の評価と分析・・・各種情報収集とそれに基づく評価と分析
- 中長期強化計画の策定・・・段階的な選手・指導者の発掘、育成、強化
- マルチサポートの有効活用・・・選手のパフォーマンス向上につながるスポーツ医科学サポートの充実

令和6年度 第1回 長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会

【令和6年5月24日(金)】

松本市勤労者福祉センターにおいて、令和6年度第1回長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会が開催されました。

令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について承認されたほか、今年度の取組の共通テーマが「スポーツでつながり 地域を元気に」に決定されました。

報告・情報提供では、本協議会幹事長の小崎陽一郎氏(特定非営利活動法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ)から令和5年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネット

ワーク)総会の報告をいただき、その後各地区常任幹事から令和6年度各ブロックの活動計画について報告がありました。また「登録・認証制度」(令和4年開始)について、次年度に向けた登録手続のスケジュールが事務局から示されました。

当日はWEB参加を含め、県内総合

型地域スポーツクラブ関係者及び市町村・県スポーツ振興担当者等、約80名が出席しました。部活動の地域移行等、総合型地域スポーツクラブも関係団体として連携が期待されるなか、自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくことが今求められています。

<令和5・6年度 長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会>

【役員】

幹事長	小崎陽一郎	(特定非営利活動法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ)
副幹事長	辺見 元孝	(一般社団法人木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ)
常任幹事	土屋 岳	(岸野スポーツクラブ)
常任幹事	水野 隆夫	(NPO法人リュシオスポーツクラブ)
常任幹事	白井 良臣	(安曇野総合型地域スポーツクラブ スポネット常念)
常任幹事	大宮 真実	(中野スマイルスポーツクラブ)

信州やまなみ国スポ・全障スポニュース

長野県競技力向上対策本部主催 第1回競技力向上カンファレンス 〔令和6年5月23日(木)〕

信州やまなみ国スポに向けた競技力向上を図るとともに、大会終了後も更なる本県スポーツの発展に寄与することを目的に、選手強化に関する最新の情報等を共有するための競技団体向けの研修会「第1回競技力向上カンファレンス」を5月23日(木)、県スポーツ協会の競技力向上専門委員会に続いて開催しました。



グループディスカッションの様子

日本のオリンピック選手強化の中心的役割を担っているハイパフォーマンススポーツセンターから、白井佳克氏(連携・協働推進部部长/ハイパフォーマンス戦略部付主幹)と萩原正大氏(ハイパフォーマンス戦略部開発課)の2名の講師をお招きし、白井氏からは「強化戦略の立案と実行による競技力向上」を、萩原氏からは「アスリート育成パスウェイの整備」をテーマに講演いただきました。

講演会後には、参加した競技団体によるグループディスカッションを行い、信州やまなみ国スポに向けた強化対策や課題などについて情報共有を行いました。

今後も、定期的に「競技力向上カンファレンス」を開催し、選手強化に関する最新の情報の共有や競技団体間での情報交換を行い、目標である天皇杯と皇后杯の獲得を目指します。

<白井氏の講演内容>



白井佳克氏

オリンピックにおける日本のメダル獲得数は、アトランタ大会(1996年)までは横ばいだったが、シドニー大会(2000年)以降増加に転じている。オリンピックでメダル獲得するためには、MPA(メダル・ポテンシャル・アスリート=メダルを獲得する可能性が高い選手)を増加させる対策と、MSR(メダル・サクセス・レート=MPAが力を発揮しメダルを獲得した成功率)を高める対策が重要になってくる。

MPAを増加させる具体的な対策は、「選手を発掘するプログラム」と「育成・強化を進めるプログラム」で、中央競技団体がこの2つのプログラムの内容を具体的に示し、実行できるよう、ハイパフォーマンススポーツセンターでは中央競技団体を様々な面からサポートし、実際にMPAを増やすことに成功した。

MSRを高めるためには、「医科学サポートの充実」が重要で、日本も試合当日だけでなく、その前後を含めた選手への医学的コンディショニングサポートを充実させたことで、MSRが高くなった実績がある。「国レベルで実行できること」と「都道府県レベルで実行できること」の違いはあるが、2028年の信州やまなみ国スポ開催前のこのタイミングなら、国が行ってきた対策を参考にすることも可能だと考える。

選手の発掘・育成・強化に関する活動等を具体的に示し実行できるよう、中央競技団体は強化戦略プランを作成している。プラン作成(P)、実行(D)、振り返り(C)、修正(A)というPDCAサイクルを回し続けることで、戦略的に継続した競技力向上を実現させることが可能である。

各競技団体が「信州やまなみ国スポではどんな姿でありたいか」「信州やまなみ国スポ終了後はどんな姿であり続けたいか」というビジョンを持ち、そのビジョンを達成するためのミッションを具体的にしていけば、目標を達成できる。

<萩原氏(長野県茅野市出身)の講演内容>



萩原正大氏

アスリート育成パスウェイとは、各競技団体が普段やっている競技の普及、選手の発掘・強化という活動全てをいい、選手がスポーツに関わってからトップアスリートになるまでをつなげた道のりとなる。

現在、国の施策では、中長期的な選手の発掘・育成が重要視されている。これまでは、既に実力があるトップアスリートを中心に強化を進める傾向にあった。しかし、トップアスリートになるまでの道のりは中長期となるケースが多く、スポーツを開始してからトップアスリートになるまでの道のり全体を考えていく必要がある。

競技によって、育成年数、選手寿命等に違いがあるため、各競技団体が競技特性に合わせて中長期的に選手を発掘・育成していく視点で、アスリート育成パスウェイを考えることが重要である。アスリート育成パスウェイを工夫することにより、育成年数を短くしたり、選手寿命を伸ばすことができたりする可能性を秘めている。長野県が始めた強化戦略プランには、中長期的なアスリート育成パスウェイも含まれており、国の施策に沿ったものになっている。

中央競技団体に関われるのは一部のトップアスリートに限られるため、成長途中のアスリートは都道府県の競技団体に育成していく必要がある。そのため、日本の競技力の根底を支えているのは都道府県の競技団体であり、日本の競技力向上を進める上で、都道府県の競技団体が戦略的に強化を進めていくことは極めて重要なことであると考えている。

競技ごとにアスリート育成パスウェイをつくり可視化することで、同じ競技に関わる人たちにそれを示すことができ、共通理解の上でアスリートの成長段階に応じた育成プログラムを進めることができるという大きなメリットがある。

繰り返しになるが、日本の競技力向上のカギを握っているのは都道府県の競技団体だと考えている。トップアスリートの輩出には、都道府県の競技団体の活躍が不可欠である。

市町村・競技団体調整会議の開催〔6月5日(水)〕

長野県観光スポーツ部国スポ・全障スポ準備課では、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」開催に向けて、県・市町村・競技団体間の情報共有や連携強化をより一層推進することを目的に、令和6年6月5日(水)に県庁講堂において「市町村・競技団体調整会議」を開催しました。

会議には、28市町・38団体の担当者の皆様にご参加いただき、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催に向けた準備経過や今後の取組等について情報を共有しました。また、会議終了後には、参加者同士の交流や意見交換が活発に行われるなど、関係者相互の顔合わせの機会となりました。

今後も、4年後に控えた「信州やまなみ国スポ・全障スポ」開催に向けて、県と市町村・競技団体の皆様との連携をより一層深めながら、大会開催に向けた準備を協力して進めてまいります。



【調整会議の様子】

全障スポに向けた競技会場地市・競技運営主管団体への説明

長野県観光スポーツ部国スポ・全障スポ準備課では、信州やまなみ国スポ・全障スポの準備を進めています。全障スポは5,000名を超える選手・役員が集う国内最大の障がい者のスポーツ大会であり、障がいのある方の社会参加の促進や障がいに対する理解を深めることを目的としています。令和6年4月から5月にかけて表1の全ての競技会場地市と競技運営主管団体を訪問し、今後の準備の進め方について意見交換を行いました。また、実際に会場となる施設を視察し、大会に参加する障がいのある選手等が安心して競技、観覧できる環境にするにはどうすればよいか意見を出し合いました。



【競技会場施設視察の様子】

4年後の開催に向けて、競技会場地市と競技運営主管団体と連携しながら、全国から参加される選手・役員や観覧される皆様の心に残る大会となるよう準備を進めていきます。

表1 正式競技、競技会場地市・競技運営主管団体一覧

正式競技(障害区分)	競技会場地市	競技運営主管団体
水泳(身・知)	長野市	一般社団法人長野県水泳連盟
ボウリング(知)		長野県ボウリング連盟
バスケットボール(知)		一般社団法人長野県バスケットボール協会
車いすバスケットボール(身)		
ソフトボール(知)	伊那市	長野県ソフトボール協会
グランドソフトボール(身)		
フットソフトボール(知)		
陸上競技(身・知)	松本市	一般財団法人長野陸上競技協会
サッカー(知)		一般社団法人長野県サッカー協会
バレーボール(知)	大田市	一般財団法人長野県バレーボール協会
バレーボール(精)		
バレーボール(身)		
アーチェリー(身)	佐久市	長野県アーチェリー協会
卓球(身・知・精)※	岡谷市	長野県卓球連盟
フライングディスク(身・知)	茅野市	長野県障害者フライングディスク協会
ボッチャ(身)	千曲市	長野県ボッチャ協会

※ S T T : サウンドテーブルテニスを含む

国スポ デモンストレーションスポーツに新たに4競技が内定

7月26日(金)に開催された第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会の第12回常任委員会において、デモンストレーションスポーツ第2次選定分の4競技が新たに内定しました。第1次選定分と合わせ6競技となります。

デモンストレーションスポーツは、通称「デモスポ」と呼ばれ、国スポ実施競技区分の一つです。

国の実施基準※に基づき実施することができることとされており、県民の誰もが参加でき、生涯を通じスポーツに親しみきっかけづくりや交流の輪を広げることを目的としています。

現在、第3次募集を行っており、申込期限は令和6年12月27日(金)までとなっています。

【問合せ先】 長野県観光スポーツ部 国スポ・全障スポ準備課 競技式典係 電話026-235-7283

【内定した6競技】

	実施競技名	主管団体名	会場地市町村	開催施設
第1次選定	マレットゴルフ	長野県マレットゴルフ連盟	池田町	池田町アルプス広場マレットゴルフ場
	少林寺拳法	長野県少林寺拳法連盟	佐久市	長野県立武道館
第2次選定	スポーツウエルネス吹矢	長野県スポーツウエルネス吹矢協会	塩尻市	塩尻市総合体育館(ユメックスアリーナ)
	チャレンジフェスティバル ~小中学生のためのスポーツ体験交流会~	特定非営利活動法人チャレンジゆうAchi	阿智村	阿智村立阿智中学校体育館
	スマートフェンシング	長野県フェンシング協会	箕輪町	箕輪町町民体育館
	森林セラピー	まつかわ森林セラピーの会	松川町	松川町 およりの森周辺

※国民スポーツ大会のデモンストレーションスポーツは、以下の実施基準に基づき、開催地都道府県と開催地都道府県競技団体が調整のうえ選定を行い、日本スポーツ協会において決定されます。

（実施基準）

- ・原則として、開催地都道府県体育・スポーツ協会加盟団体の競技であること
- ・上記以外の場合は、開催地都道府県の特性を生かしたもの、あるいは開催地都道府県民のスポーツ推進のため重点的に実施されているもので、いずれも当該都道府県体育・スポーツ協会の推薦すること
- ・正式競技及び公開競技以外の競技であること
- ・参加者は、原則として、開催地都道府県内に居住している者とする



スポーツ少年団

nagano junior sports clubs association

第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

○長野県大会《伊那市：伊那ニッパツスタジアム、伊那ニッパツ野球場》

伊那市に県下4地区からの代表8チームが集まり、6月15日(土)に準決勝戦までを行い、6月16日(日)に決勝戦が行われました。

蒸し暑く、風で砂埃が舞う中をものともせず、全力で試合に臨む団員たちを保護者をはじめ関係者の皆様も全力で応援し、決勝戦はタイブレーク戦にもつれ込む接戦となり、応援合戦にも熱がこもりました。

優勝した諏訪ベースボールクラブと準優勝の岩村田スポーツ少年団が県代表として7月6日(土)・7日(日)に福井県福井市で開催された北信越大会に出場しました。



選手宣誓

〔県大会結果〕
優勝：諏訪ベースボールクラブ（諏訪市）
準優勝：岩村田スポーツ少年団（佐久市）
第3位：西春近スポーツ少年団（伊那市）
第3位：吉田スポーツ少年団（塩尻市）



優勝：諏訪ベースボールクラブ



準優勝：岩村田スポーツ少年団

○北信越大会《福井市：セーレン・ドリームスタジアム、福井市フェニックス球場》

北信越大会は、7月6日(土)が雨天のため7日(日)に全試合が行われました。

長野県代表として出場した諏訪ベースボールクラブは福井県の社南と、岩村田スポーツ少年団は福井県のドラゴン中藤と対戦しましたが、1回戦で敗れました。

決勝戦は福井県代表と石川県代表との抽選となり、石川県の中条ブルーインパルススポーツ少年団が8月1日(木)～4日(日)に鳥取県で開催される全国大会の切符を手にしました。

日独スポーツ少年団同時交流事業



派遣団員(敬称略)

小岩ひなた(楽動隊スポーツ少年団)
松澤 彩夢(楽動隊スポーツ少年団)

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースが主催する相互交流事業で、1974年に始まった本事業は、本年で51周年を迎えました。

今年度長野県からは、小岩ひなたさん、松澤彩夢さんの2名が派遣されます。

出発に先立ち7月18日(木)、長野県スポーツ少年団副本部長と派遣団員は、県スポーツ協会での壮行会に臨んだ後、観光スポーツ部長を表敬訪問しました。

2人からは、ドイツの文化や歴史を学び、生活様式や考え方の違いを体験できることを非常に楽しみにしていることを述べ、観光スポーツ部長からは、今回の体験から今後の成長に期待する旨の激励の言葉をいただきました。

派遣団員は、7月29日(月)に国立オリンピック記念青少年総合センターに集合し、結団式やグループ別ミーティングに臨んだのち、7月31日(水)に日本を出発してドイツ各地で交流事業を行い、8月15日(木)に日本に帰国する予定です。

☆ 総合型地域スポーツクラブ紹介 ☆

小谷村総合型地域スポーツクラブ

長野県中信地区の最北端にある小谷村は、人口2600人程の山間にある村です。

当クラブは2010年に発足し、今年度で14年目になります。今年度はクラブ登録をし、運営方法等も少し変更して「だれでも、だれとでも、いつでも、いつまでも、自分らしく！」をテーマに、村民の皆様が参加しやすいクラブへ進化中であります。現在、17の教室を開講し、小学生から大人まで147名の方が、日々それぞれの目標に向けて活動されています。教室に参加されている方々の生き生きとした表情や真剣なまなざしがとても眩しいです！

今年度、新たな取組として「交流・食・運動」をテーマに行政と連携して、月1回村民向けのイベントを行っております。3つのサークルがうまく重なり



合うことで、より良い健康につながるのではと計画しました。

まだ手探り状態で、課題もやりたいこともたくさんありますが、今後も大人も子どもも「こころとからだの健康」を第一に、誰もが気軽に参加しやすいイベント等を企画・開催していきます。

また、当村でも中学校部活動の地域移行に関して課題となっておりますが、子供たちの運動環境を整えながら、身体を動かす楽しさも継続して伝え、そ



こから自発的に行動できる子供たちに成長してほしい、そして子供たちを見守る大人たちが意欲的に、また負担のない活動ができる環境作りを当クラブとしても模索していきたいと思えます。

今後も、当クラブが地域に根付いた、持続可能なクラブへより発展するよう努めていきます。

小谷村だからできることを！小谷村らしいクラブへ！

第32回

abnスポーツ大賞

「abnスポーツ大賞」の贈呈式が、6月17日(月)に長野市内のホテルで行われました。

この賞は、県内スポーツ関係者で国内外のスポーツ大会および競技会で優れた成績を挙げ、県民に希望や夢を与えた選手個人または団体と、スポーツの指導・育成・振興に貢献した個人または団体を対象として贈られるもので、今回の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

abnスポーツ大賞

牧 秀悟 (DeNA) 競技：プロ野球

abnスポーツ新人賞

小林 唄 (国士館大学4年) 競技：アーティスティックスイミング
 佐々木 真平 (新渡戸文化高校3年) 競技：馬術
 白井 航惺 (近畿大付属高校3年) 競技：アーチェリー
 高橋 実榮 (飯山高校3年) 競技：クロスカントリースキー
 丸山 弘毅 (神奈川ヴァンガーズ) 競技：車いすバスケットボール
 宮川 笑佳 (日本体育大学1年) 競技：スピードスケート

abnスポーツ特別賞

出口 クリスタ (日本生命) 競技：柔道
 佐久長聖高等学校駅伝部 (佐久長聖高等学校) 競技：駅伝
 全国都道府県対抗男子駅伝長野県チーム 競技：駅伝



未来の冬季オリンピックメダリストを育成する

SWAN

プロジェクト

Superb Winter Athlete NAGANO

16期生
募集!!
世界を目指せ!

SWANプロジェクトは、未来の冬季オリンピックのメダリストを見出し、育成することを目指します。

募集締切
令和6年9月6日(金)



※詳細はホームページをご確認ください 申込はこちら

SWANプロジェクト実行委員会 事務局

公益財団法人 長野県スポーツ協会

パートナー企業・団体の皆様

PLATINUM PARTNERS プラチナパートナー

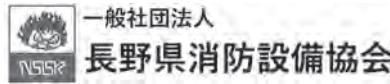


GOLD PARTNERS ゴールドパートナー



ライオンズクラブ国際協会
334-E地区

SILVER PARTNERS シルバーパートナー



総合印刷センター
株式会社 **信光社**

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる



© 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター